高速道路・幹線道路

交通騒音対策製品

総合カタログ

KURIMOTO

次代につなぐ
強靭な社会インフラの構築へ。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

建材事業部は、交通騒音対策製品で
SDGsに貢献します。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任

※SDGsへの取り組みにつきまして詳しくは裏表紙をご覧ください。

ますます高度化する社会の中で、道路というインフラ整備もより一層進化しています。
安全に、強靭に、確実に。そして、持続可能な社会の実現へ。
百年を超える歴史の中で結集されたクリモトの知見と技術力が、
そうした時代の要請に応えて、交通騒音対策製品をラインナップしました。
高い遮音性能や吸音性能によって道路環境、住環境の騒音問題が改善されることはもちろん、
腐食対策製品や維持管理性に優れた製品を開発し、
道路そのものの長寿命化も目指しています。
次代につなぐ社会インフラの構築へ、
クリモトは貢献します。

KURIMOTO

高速道路・幹線道路 交通騒音対策製品

〈 総合カタログ 〉

目 次

金属製遮音板

03_統一型吸音パネル

04_支柱背面隠蔽式吸音パネル

05_カラットパネル
（排水機能付き統一型吸音板）

07_点検口付き金属製遮音板 推奨製品

09_両面吸音パネル

透光性遮音板

11_ポリカーボネート透光板

13_アクリル透光板 推奨製品

15_クリアシャット
（投物防止柵）

17_ビューソーン
（透光型吸音パネル）

その他の製品

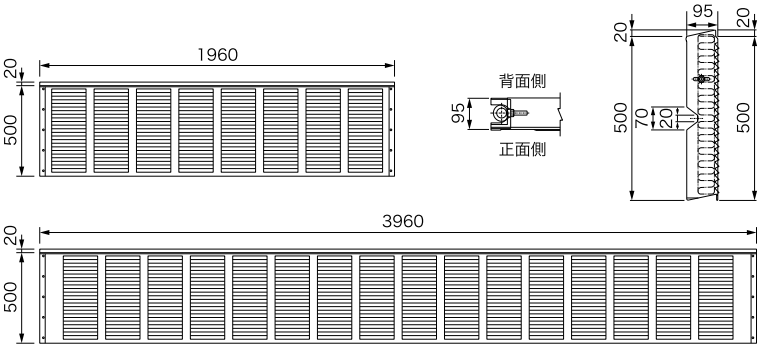
19_ハイシャット
（遮音壁頂部設置型消音装置）

21_裏面吸音板
（保守点検足場機能付）

統一型吸音パネル

最も広く利用されている金属製吸音パネルで、高い吸音性能と遮音性能を有しています。

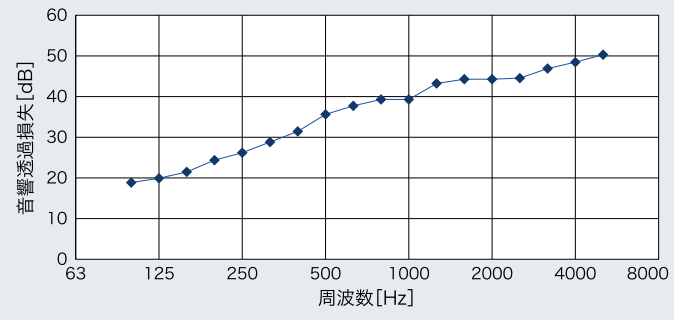
製品図



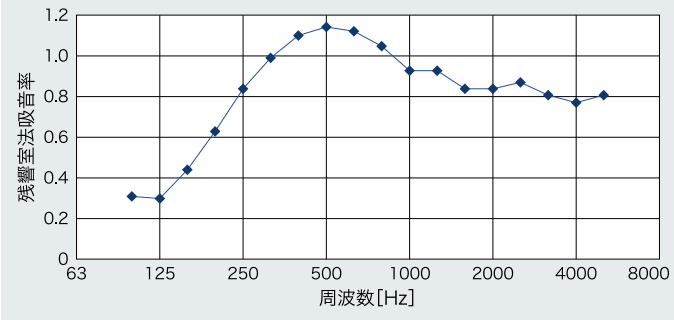
製品規格

製　品（型番）	標準寸法（mm）	参考重量（kg）	材　質
統一型吸音パネル KSB-2	1960×500×95	26	正面板：アルミニウム板　JIS H4000 A5052P　t=1.0mm 背面板：高耐候性めっき鋼板　JIS G 3323 SGMH400 K27　t=1.6mm　または フッ素樹脂ラミネート鋼板（SGC400 Z27）　t=1.6mm 側面板：高耐候性めっき鋼板　JIS G 3323 SGMH400 K27　t=1.6mm 吸音材：ポリエステル繊維吸音材　50mm
統一型吸音パネル KSB-4	3960×500×95	50	

音響透過損失 測定結果



残響室法吸音率 測定結果

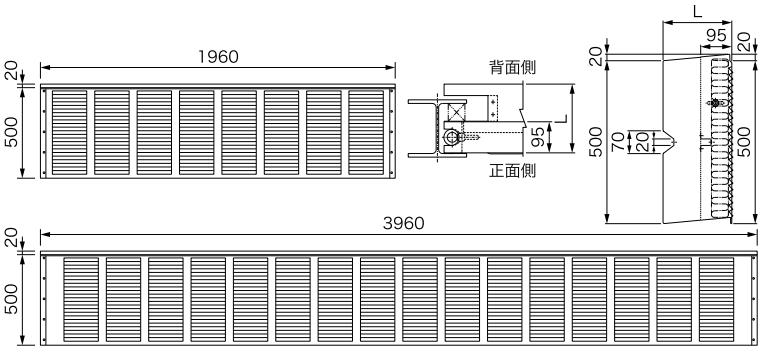


支柱背面隠蔽式吸音パネル

背面側の支柱を隠蔽し、カラー鋼板を使用することで周辺環境との調和が可能です。

● パネルの厚みを変えることで、各支柱サイズに対応することが可能です。

製品図

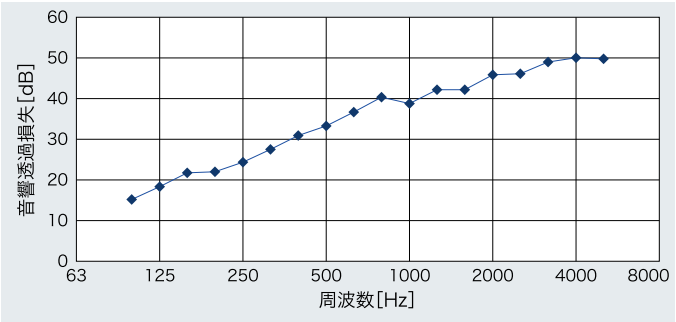


支柱サイズ	パネル厚さ（mm）	参考重量（kg）	
	L	2m品	4m品
H-125×125	160	39	70
H-150×150	185	41	73
H-175×175	210	45	82
H-194×150	229	46	85
H-200×200	235	47	85
H-244×175	279	50	91

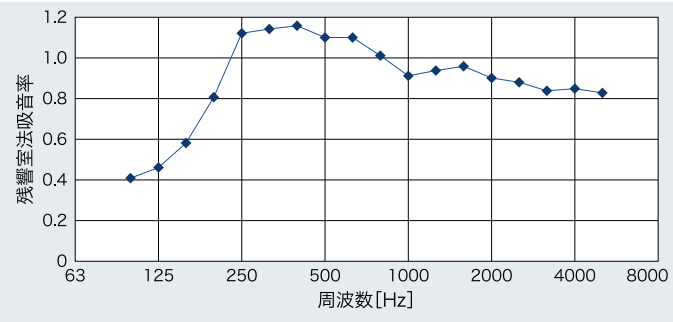
製品規格

製　品（型番）	標準寸法（mm）	材　質
支柱背面隠蔽式吸音パネル KSC-2	1960×500×L	正面板：アルミニウム板　JIS H4000 A5052P　t=1.0mm 背面板：フッ素樹脂ラミネート鋼板（SGC400 Z27）　t=1.6mm 側面板：高耐候性めっき鋼板　JIS G 3323 SGMH400 K27　t=1.6mm 吸音材：ポリエステル繊維吸音材　50mm
支柱背面隠蔽式吸音パネル KSC-4	3960×500×L	

音響透過損失 測定結果（パネル厚さ：160の場合）



残響室法吸音率 測定結果（パネル厚さ：160の場合）



カラットパネル（排水機能付き統一型吸音板）

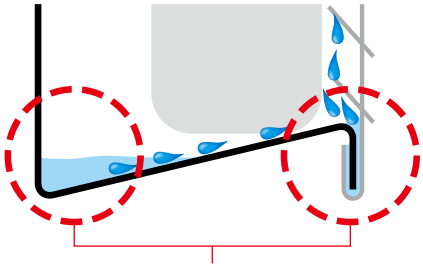
遮音壁を長寿命化。

ルーバーから侵入した雨水等を速やかに排水し、腐食を防止。

従来の金属製遮音板（腐食状況例）

従来品は腐食の原因となる雨水や凍結防止材などが、正面板のルーバー開口から吸音板内部に侵入し、正面板の下部折り返し部や背面板底部に滞留することにより腐食が進行したものと考えられます。

▶ 従来品構造



水が内部に滞留

だから、

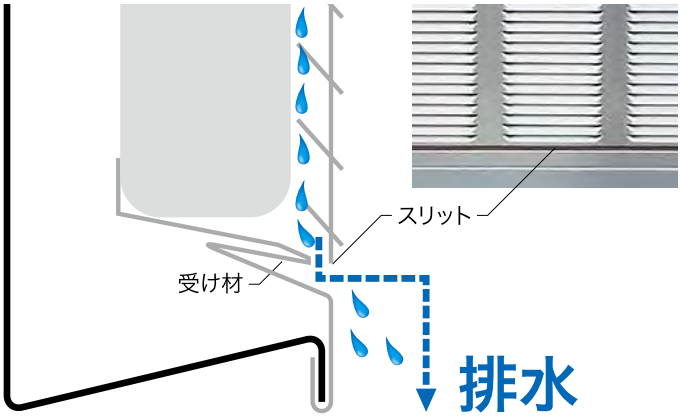
カラットパネルは、

耐用年数 約40年※

ルーバーから吸音板内部に侵入した雨水や凍結防止材などを、吸音材表面の撥水シートで受け止め、下部に設けた受け材とスリットにより正面側に排出します。

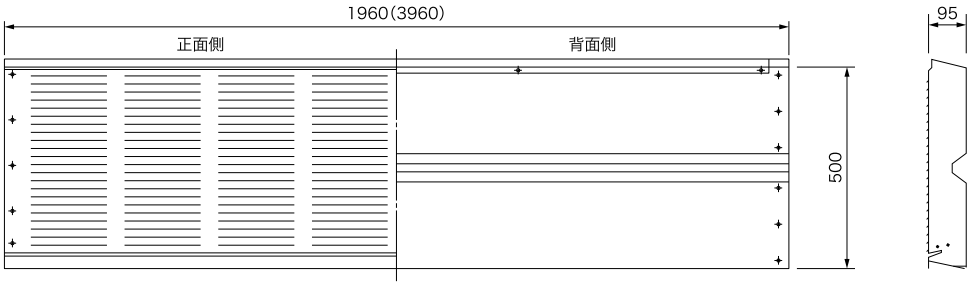
※製品の耐用年数は、使用する材料の仕様から算出した当社の推定値です。
耐用年数は使用環境・条件により異なりますので、必ずしも記載の年数を保証するものではありません。
ご使用の際は周辺環境・条件を確認の上、使用してください。

▶ カラットパネル排水構造



▶ 統一型吸音板と同じ外形形状で交換にも適しています。

製品図



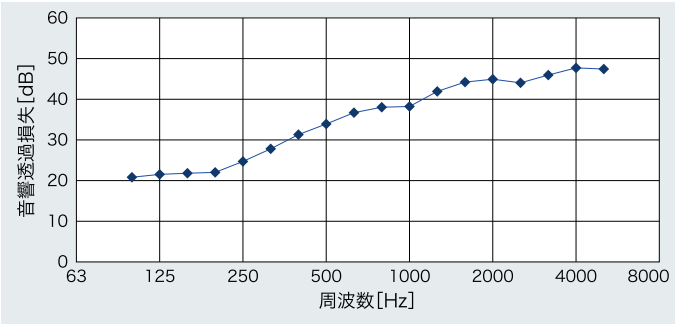
製品規格

標準寸法（mm）	参考重量（kg）	材　質
1960×500×95	26	正面板：アルミニウム板　JIS H4000 A5052P　t=1.0mm 背面板：高耐候性めっき鋼板　JIS G 3323 SGMH400 K27　t=1.6mm　または フッ素樹脂ラミネート鋼板(SGC400 Z27)　t=1.6mm 側面板：高耐候性めっき鋼板　JIS G 3323 SGMH400 K27　t=1.6mm 吸音材：ポリエステル繊維吸音材　50mm
3960×500×95	50	

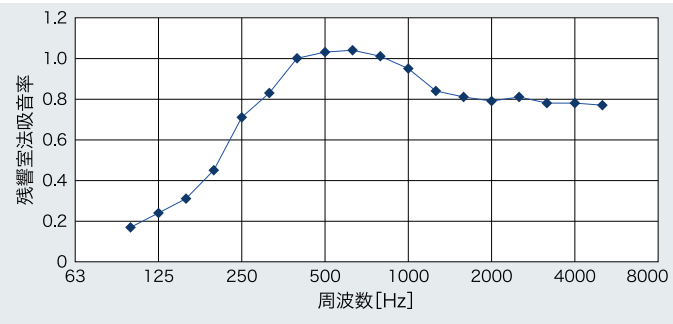
各種試験結果

試験項目	試験方法	性能試験規定値	判　定
音響透過損失	JIS A 1416	400Hz：25dB以上 1000Hz：30dB以上	合　格
残響室法吸音率	JIS A 1409	400Hz：0.7以上 1000Hz：0.8以上	合　格
耐風圧性能	NEXCO試験法901	風荷重　2kN／㎡	合　格

音響透過損失 測定結果

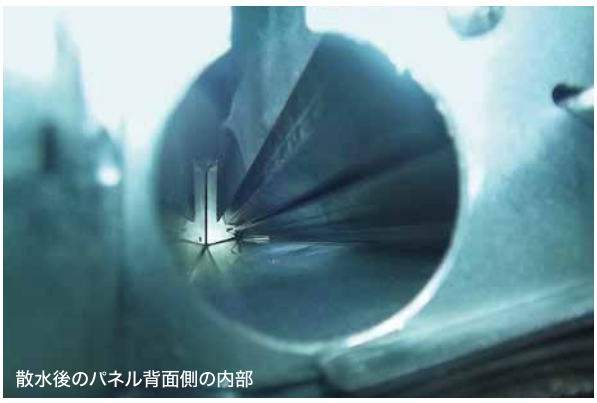


残響室法吸音率 測定結果



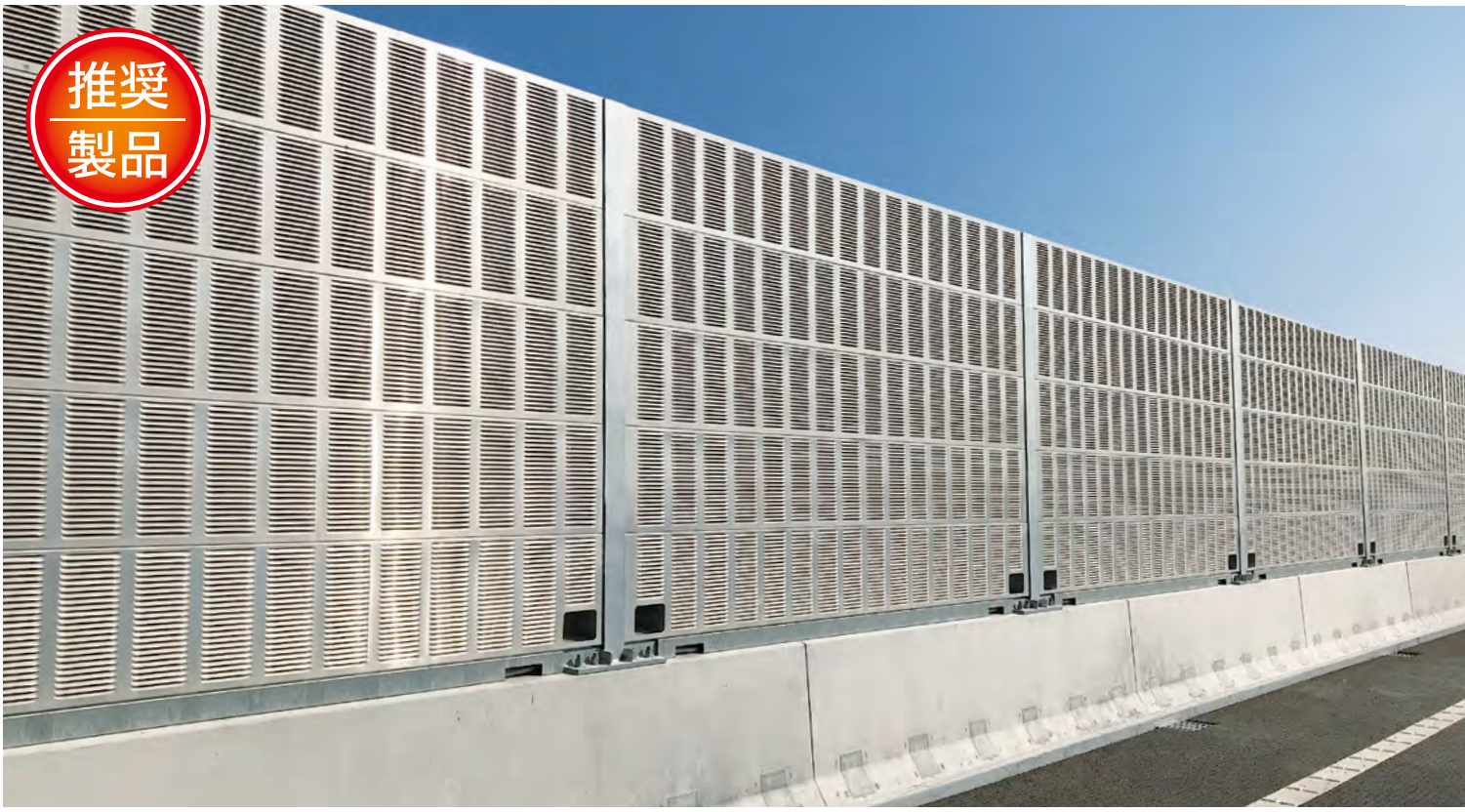
散水試験

散水の様子


散水後のパネル背面側の内部

点検口付き金属製遮音板（排水機能付き）

特許 第7481931号



点検作業の効率化、省人化、コストダウンを実現。

遮音壁用アンカーボルト・ナットの点検作業性が大きく向上します。

点検作業性が大きく向上する5つのポイント

最重要ポイント

道路側から点検が可能

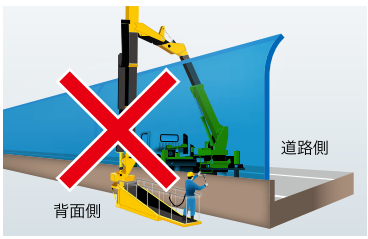
道路側の開口部から背面側アンカーボルトが点検できます。

ゴム蓋で遮音性能を確保

通常時は耐候性に優れたゴム蓋で遮音性能を確保します。

工具などの落下防止

点検時、工具などの落下防止を考慮した背面形状。



橋梁点検車が不要

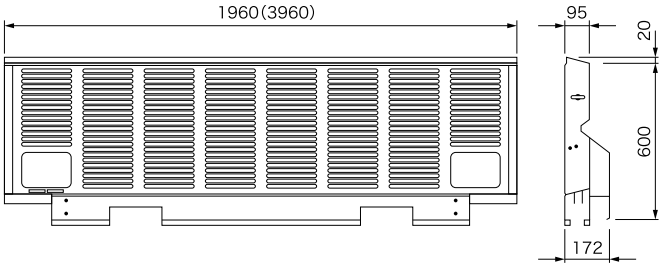
道路側から点検が可能となるため、橋梁点検車が不要です。

交通規制が不要

点検時、背面（街路）側の交通規制が不要です。

※点検部の開閉に工具等は必要ありません。

製品図



製品規格

標準寸法（mm）	参考重量（kg）	材　質
1960×600×95(172)	43	正面板：アルミニウム板　JIS H4000 A5052P　t=1.0mm 背面板：高耐候性めっき鋼板　JIS G 3323 SGMH400 K27　t=1.6mm または　フッ素樹脂ラミネート鋼板　(SGC400 Z27)　t=1.6mm 吸音材：ポリエステル繊維吸音材　50mm ゴム蓋：EPDM材
3960×600×95(172)	83	

各種試験結果

試験項目	試験方法	性能試験規定値	判　定
音響透過損失	JIS A 1416	400Hz：25dB以上 1000Hz：30dB以上	合　格
残響室法吸音率	JIS A 1409	400Hz：0.7以上 1000Hz：0.8以上	合　格
耐風圧性能	NEXCO試験法901	風荷重　2kN／㎡	合　格
耐衝撃性能	NEXCO試験法902	部材の飛散防止率　99%以上 部材の破片最大重量　1.5g以下	合　格

透光性遮音壁用 点検口付き金属製遮音板

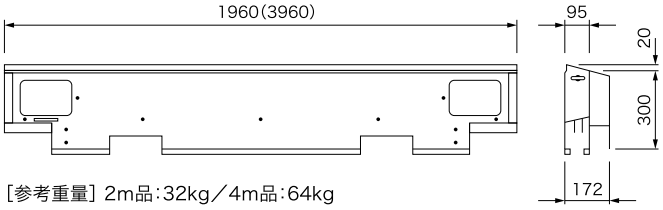
透光性遮音壁と組み合わせて下部に使用することで、採光性を大きく損なうことなく点検作業性を向上します。

※写真はオプションの「正面蓋」付き

正面蓋が開いている時

正面蓋が閉じている時

製品図

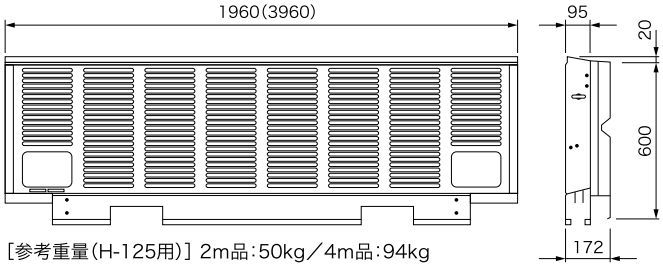


［参考重量］2m品：32kg／4m品：64kg

支柱背面隠蔽式 点検口付き金属製遮音板

支柱隠蔽式タイプにも対応可能です。支柱サイズが大きい場合もご相談ください。

製品図



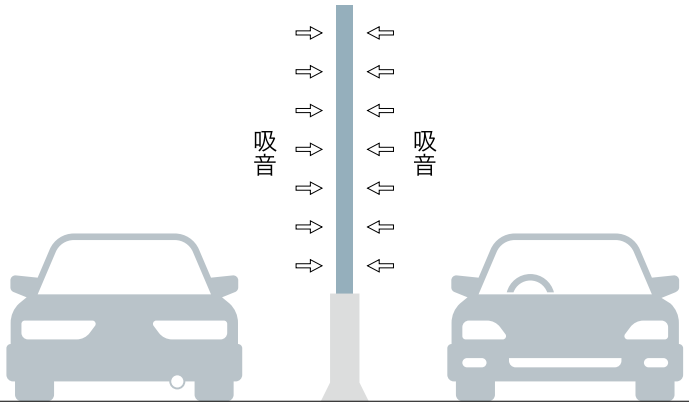
［参考重量(H-125用)］2m品：50kg／4m品：94kg

両面吸音パネル

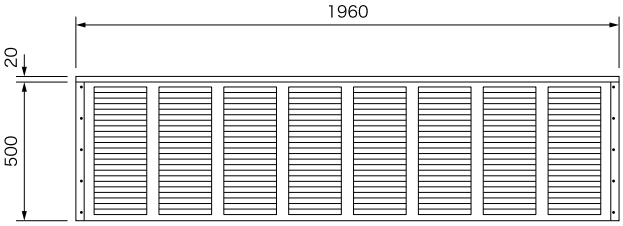
隣接する道路両側の騒音対策に効果的。

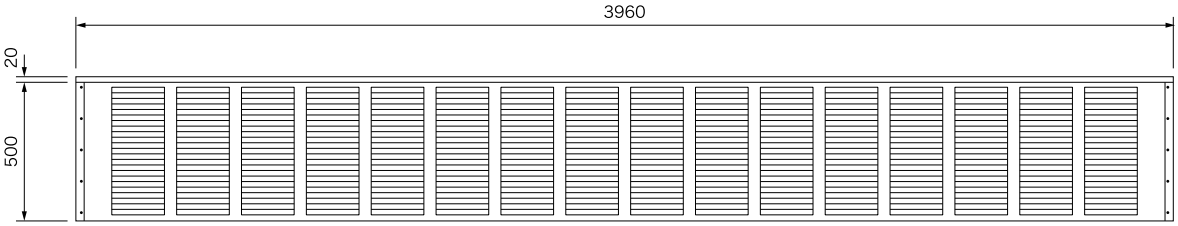
▶ **両側から吸音する**ので
側道の反射音対策に効果があります。

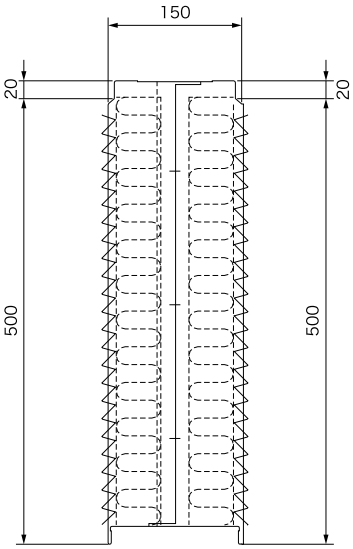
▶ 高速道路と一般道の並走部
及び中央分離帯など
両側へ騒音対策が必要な箇所に効果的です。

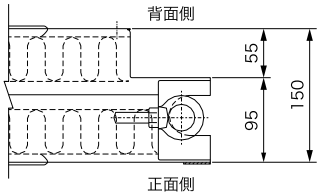


製品図





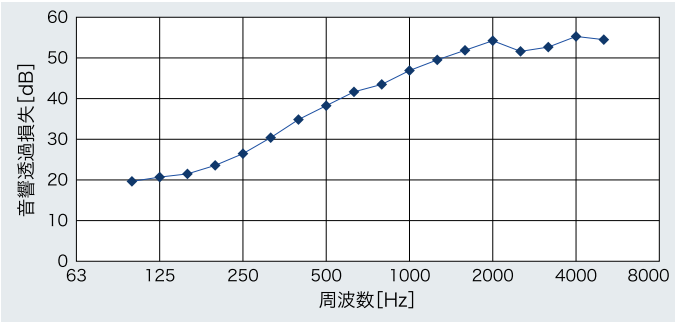




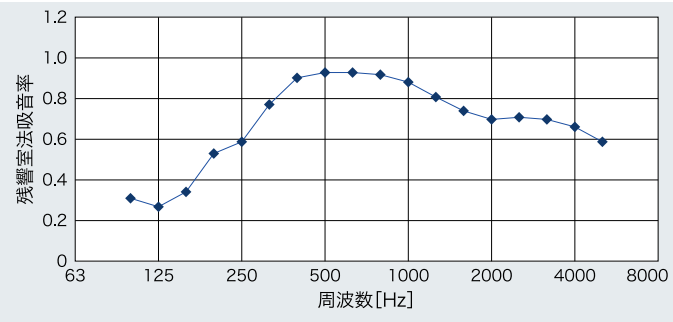
製品規格

製　品（型番）	標準寸法（mm）	参考重量（kg）	材　質
両面吸音パネル KSB-W-2	1960×500×150	38	前　面　板：アルミニウム板　JIS H4000 A5052P　t=1.0mm 枠材・側面板：高耐候性めっき鋼板　JIS G 3323 SGMH400 K27　t=1.6mm 吸　音　材：ポリエステル繊維吸音材　50mm
両面吸音パネル KSB-W-4	3960×500×150	75	

音響透過損失 測定結果



残響室法吸音率 測定結果



ポリカーボネート透光板

日照を遮ることなく、
道路騒音に対応。

ポリカーボネート製の透光型パネルで、
NEXCOが定める各種要求性能の試験をクリア
しています。

ポリカーボネートの板厚は、
8mm、10mm、17mmの3種類をご用意。
求められる安全性能に合わせたご提案が可能です。

高速道路、幹線道路などの遮音に加え、
道路周辺の日照を確保します。

製品規格

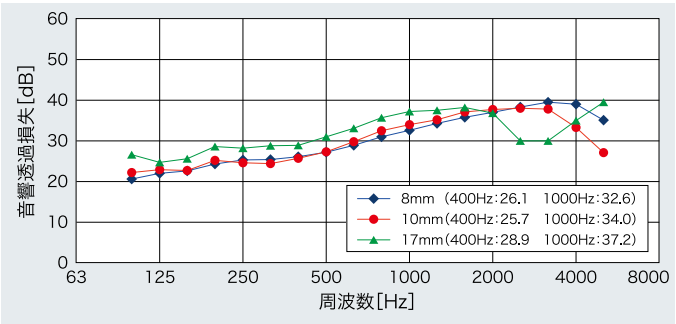
ポリカーボネート板厚さ（mm）	NEXCO透光板性能区分	枠　材	最大サイズ（mm）	参考重量（kg/㎡）
17	Ⅲ	アルミニウム押出型材	H2000×L3960	26
10	Ⅱ			18
8	Ⅰ			16

各種試験結果

試験項目	試験方法	性能試験規定値	判　定
音響透過損失	JIS A 1416	400Hz：25dB以上 1000Hz：30dB以上	合　格
全光線透過率	JIS K 7361-1	8mm、10mm　80%以上 17mm　75%以上	合　格
耐風圧性能 （最大荷重 2.0kN/㎡）	NEXCO試験法901	残留たわみ量が開口長辺の1%以下 中心たわみ量が開口短辺の1/15以下	合　格
耐衝撃性能	NEXCO試験法902	部材の飛散防止率　99%以上 部材の破片最大重量　1.5g以下	合　格 （17mm、10mmのみ）
走行視環境性能	NEXCO試験法905	ひずみの平均波高波長比が1/140以下	合　格
耐燃性能	NEXCO試験法906	耐燃性区分Ⅱの耐燃性能を有すること	合　格（10mm）
		耐燃性区分Ⅲの耐燃性能を有すること	合　格（17mm）
複合性能 （バーナー）	NEXCO試験法907	複合耐衝撃性能及び 複合耐燃性能を有すること	合　格 （17mmのみ）
耐飛び石性能	NEXCO試験法908	ヘルツ破壊又はクラックがないこと	合　格（17mm、10mmのみ）
耐候性能※	JIS K 7373	黄色度（YI）　7以下	合　格
	JIS K 7361-1	全光線透過率　75%以上	合　格
	JIS K 7136	曇価の変化量（△H）　10%以下	合　格

※JIS K 7350-2により5000時間の促進曝露実施後に各試験を実施。

音響透過損失 測定結果



注意

- 施工時に工具等をポリカーボネート板、アルミ枠等に触れないようにして下さい。傷などの破損の原因となります。
- ポリカーボネート板の保護フィルムを貼ったまま長時間直射日光の当たるところに放置されますと、保護フィルムが剥がれなくなることがありますのでご注意下さい。
- ポリカーボネートの汚れを拭き取る場合、ゴミ等の異物を取り除いてから、水で200倍程度に薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布で軽く拭き取って下さい。異物が混在したまま拭き取るとポリカーボネートに傷が付く恐れがあります。
- 台木を使用して仮置きする場合は、ポリカーボネート板に荷重が掛からないようアルミ枠で受けて下さい。傷などの破損の原因となります。
- ポリカーボネート板はシンナーなどの溶剤や薬品で拭かないで下さい。変色（白濁など）やクラック発生の原因になります。ポリカーボネート面に塗装する際は、溶剤（溶剤の成分や濃度等）の選択には十分に考慮して下さい。

※その他の注意事項に関しては22ページをご覧下さい。

アクリル透光板

透明性が高く、耐候性に優れた アクリル製の透光性遮音板。

優れた耐候性と透明性

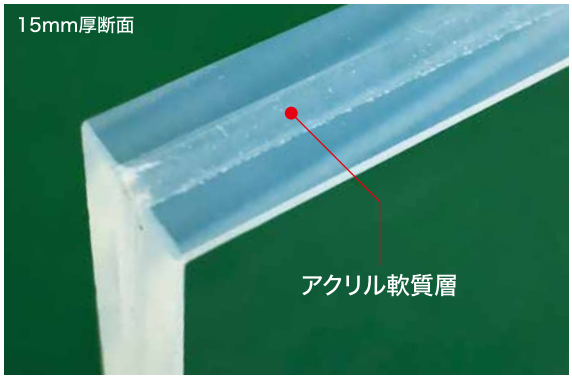
アクリル板は紫外線劣化が少なく、黄色変化がほとんどありません。透光性が高く透明性に優れています。さらに、表面のひずみが少なく景観性にも優れるため、周辺環境との調和が可能です。

2種類の厚みをラインナップ

アクリル板は「積層構造の15mm厚」と「単層構造の8mm厚」の2種類の厚みをラインナップ。設置する場所等の条件によって選ぶことができます。

高い飛散防止性能（15mm厚）

15mm厚のアクリル板は、独自の積層構造（難燃性のアクリル板と中間層にアクリル軟質層を積層）により難燃性にくわえて耐衝撃性の向上を実現。



製品規格

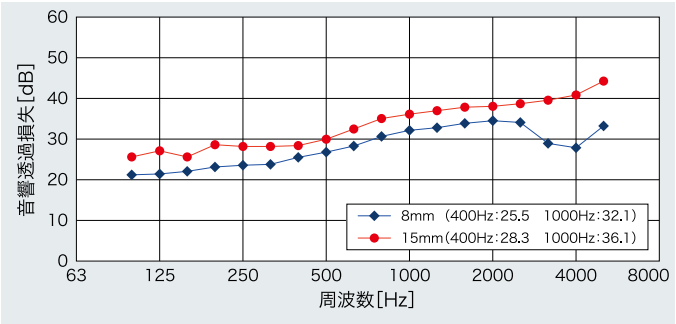
アクリル板厚さ（mm）	アクリル板構造	NEXCO透光板性能区分（飛散防止性能）	枠　材	最大サイズ（mm）	参考重量（kg/㎡）
15	積層構造（中間層あり）	ⅡおよびⅢ（あり）	アルミニウム押出型材	H2000×L3960	24
8	単層構造	Ⅰ（なし）			17

各種試験結果

試験項目	試験方法	性能試験規定値	判　定
音響透過損失	JIS A 1416	400Hz：25dB以上 1000Hz：30dB以上	合　格
全光線透過率	JIS K 7361-1	90%以上	合　格
耐風圧性能（最大荷重 2.0kN/㎡）	NEXCO試験法901	残留たわみ量が開口長辺の1%以下 中心たわみ量が開口短辺の1/15以下	合　格
耐衝撃性能	NEXCO試験法902	透光部材の飛散防止率　99%以上 透光部材の破片最大重量　1.5g以下	合　格（15mmのみ）
走行視環境性能	NEXCO試験法905	ひずみの平均波高波長比が1/140以下	合　格
耐燃性能	NEXCO試験法906	耐燃性能を有すること（性能区分Ⅱ、Ⅲ）	合　格（15mmのみ）
耐飛び石性能	NEXCO試験法908	耐飛び石性能を有すること	合　格
耐候性能※	JIS K 7373	黄色度（YI）7以下	合　格
	JIS K 7361-1	全光線透過率75%以上	合　格
	JIS K 7136	曇価の変化量（ΔH）10%以下	合　格

※JIS K 7350-2により5000時間の促進曝露実施後に各試験を実施。

音響透過損失 測定結果



注意

- 施工時に工具などをアクリル板、アルミ枠等に触れないようにして下さい。傷など破損の原因となります。
- アクリル板の保護フィルムを貼ったまま長時間直射日光の当たるところに放置されますと、保護フィルムが剥がれなくなることがありますのでご注意下さい。
- アクリル板の汚れを拭き取る場合、ゴミ等の異物を取り除いてから、水で1%程度に薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布で軽く拭き取って下さい。異物が混在したまま拭き取るとアクリル板に傷が付く恐れがあります。
- 台木を使用して製品を仮置きする場合は、アクリル板に荷重が掛からないようにアルミ枠で受けて下さい。製品に傷が付く恐れがあります。
- 透光板に使用されているアクリル板はシンナーなどの有機溶剤や薬品で拭かないで下さい。白化やクラック発生の原因になります。

※その他の注意事項に関しては22ページをご覧下さい。

クリアシャット（投物防止柵）

遮音壁よりも簡易的な投物防止柵。

支柱への落とし込みをすることなくパネル設置ができます。

▶ 優れたデザイン性 ◀

支柱を化粧カバーで覆うため、デザイン性に優れています。

化粧カバー

▶ 透光型遮音壁と同等の遮音効果 ◀

5mmの厚さのポリカーボネートを使用しており遮音壁と同等の遮音効果を有しています。

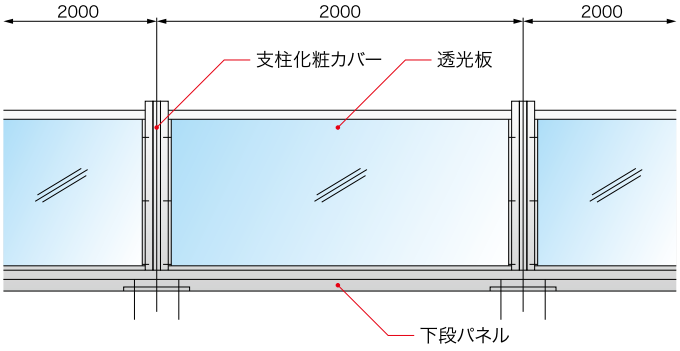
5mm厚
ポリカーボネート

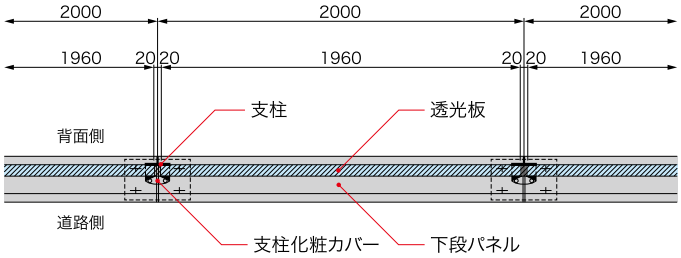
▶ 高所作業が不要 ◀

パネル設置に高所作業が不要です。安全に施工が可能です。

前面から
パネル設置

製品図



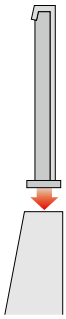


製品規格

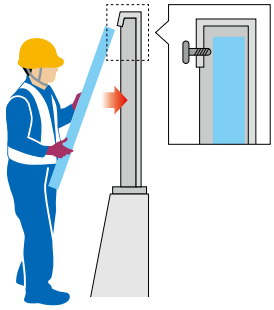
製　品 （型番）	透光板材質	遮音性能 （音響透過損失）	枠　材	サイズ （m）	参考重量 （kg/㎡）	耐風圧性能 （kN/㎡）	安全対策	耐燃性 （JIS K 6911 A法）
クリアシャット （K-SF1）	ポリカーボネート 5mm	400Hz：20dB以上 1000Hz：25dB以上	アルミニウム 押出型材	スパン2.0 ×高さ1.0	12	2.0	パネル落下 防止ワイヤー	自己消火性

施工イメージ

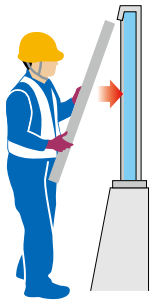
1 支柱の設置



2 パネルの設置



3 支柱化粧カバーの設置



4 保護フィルムをはがして設置完了

⚠注意

- 施工時に工具等をポリカーボネート板、アルミ枠等に触れないようにして下さい。傷などの破損の原因となります。
- ポリカーボネート板の保護フィルムを貼ったまま長時間直射日光の当たるところに放置されますと、保護フィルムが剥がれなくなることがありますのでご注意下さい。
- ポリカーボネートの汚れを拭き取る場合、ゴミ等の異物を取り除いてから、水で200倍程度に薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布で軽く拭き取って下さい。異物が混在したまま拭き取るとポリカーボネートに傷が付く恐れがあります。
- 台木を使用して仮置きする場合は、ポリカーボネート板に荷重が掛からないようアルミ枠で受けて下さい。傷などの破損の原因となります。
- ポリカーボネート板はシンナーなどの溶剤や薬品で拭かないで下さい。変色（白濁など）やクラック発生の原因になります。ポリカーボネート面に塗装する際は、溶剤（溶剤の成分や濃度等）の選択には十分に考慮して下さい。

※その他の注意事項に関しては22ページをご覧下さい。

ビューソーン（透光型吸音パネル）

標準タイプ設置例

両面タイプ設置例

透明膜状吸音材と透光板を組み合わせた透光型吸音パネル。

- 透視性があり、良好な日照や景観が得られます。
- 高い吸音・遮音特性を有しています。
- 吸音材は耐久性に優れており、飛散もありません。
- 汚れにくく、洗浄もできます。
- 用途に合わせて選べる標準タイプ（片面吸音）と両面タイプ（両面吸音）の2タイプをラインナップ。

両面タイプは、高速道路と一般道の併走部及び中央分離帯など両側への騒音対策が必要な箇所に効果的です。

■透明膜状吸音材

透明膜状吸音材は、透明フッ素樹脂フィルムとアルミメッシュまたは孔明きポリカーボネートを積層した吸音材で、入射音波をフィルムの膜振動によって効果的に吸収するため、広い周波数領域で優れた吸音特性を示します。

Aタイプ
（フィルム・アルミメッシュ）

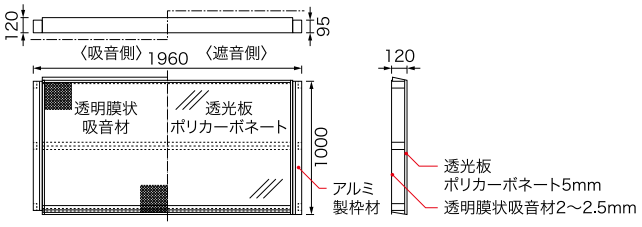
Pタイプ
（フィルム・孔明きポリカーボネート）

▶ 各種試験結果　（　）内はパネルの場合

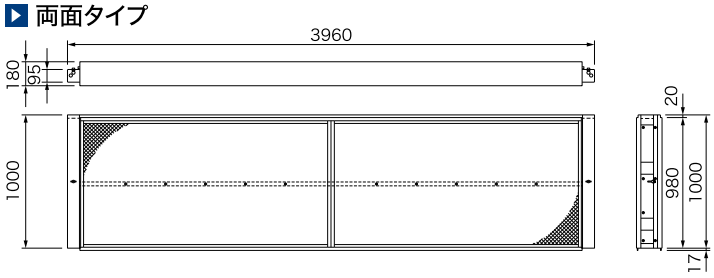
試験項目	試験方法	結　果	
		Aタイプ	Pタイプ
耐燃試験	JIS A 1322	フィルム…防炎1級	
	JIS K 6911	ポリカーボネート…自消性	
光線透過率	JIS K 7361-1	45%(40%)	60%(50%)

製品図

標準タイプ



両面タイプ



製品規格

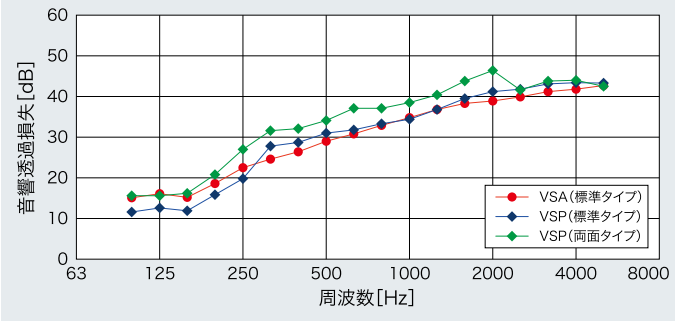
製　品	型　番※1	標準寸法（mm）	参考重量（kg）	材　質
透光型吸音パネル ビューソーン（標準タイプ）	VSA-2／VSP-2	1960×1000×120	40	枠　材：アルミニウム押出型材 吸音材：透明膜状吸音材 遮音材：ポリカーボネート板 5mm
	VSA-4／VSP-4	3960×1000×120	80	
透光型両面吸音パネル ビューソーン（両面タイプ）	VSP-2R	1960×1000×180	50	
	VSP-4R	3960×1000×180	95	

※1.VSA=透明膜状吸音材Aタイプ。VSP=透明膜状吸音材Pタイプ。

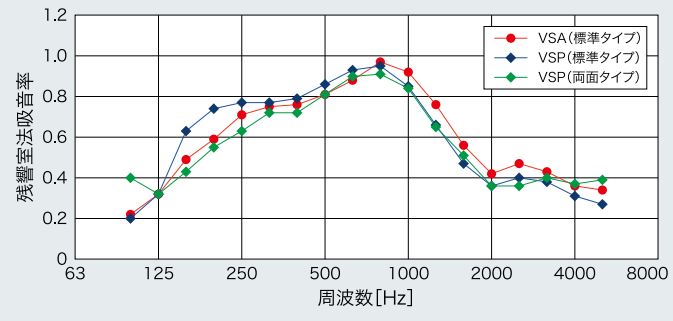
各種試験結果

製　品	試験項目	試験方法		性能（結果）		道路用防音パネル規格
				VSA	VSP	
透光型吸音パネル ビューソーン（標準タイプ）	音響透過損失	JIS A 1416	400Hz	26dB	29dB	25dB以上
			1000Hz	35dB	34dB	30dB以上
	残響室法吸音率	JIS A 1409	400Hz	0.76	0.79	0.7以上
			1000Hz	0.92	0.85	0.8以上
	耐風圧性能	載荷試験	土工部	1.5kN/㎡		1.5kN/㎡以上
			高架部	3.0kN/㎡		2.0kN/㎡以上
透光型両面吸音パネル ビューソーン（両面タイプ）	音響透過損失	JIS A 1416	400Hz		32.1dB	25dB以上
			1000Hz		38.5dB	30dB以上
	残響室法吸音率	JIS A 1409	400Hz		0.72	0.7以上
			1000Hz		0.84	0.8以上
	耐風圧性能	載荷試験	土工部	1.5kN/㎡		1.5kN/㎡以上
			高架部	3.0kN/㎡		2.0kN/㎡以上

音響透過損失 測定結果



残響室法吸音率 測定結果



⚠注意

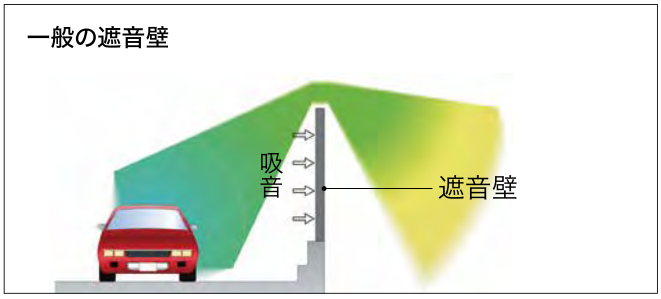
- 施工時に工具などをポリカーボネート、透明膜状吸音材、アルミ枠等に触れないようにして下さい。傷や破れなど破損の原因となります。
- ポリカーボネート板用の保護フィルムを貼ったまま長時間直射日光の当たるところに放置されますと、保護フィルムが剥がれなくなることがありますのでご注意下さい。
- ポリカーボネートの汚れを拭き取る場合、ゴミ等の異物を取り除いてから、水で200倍程度に薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布で軽く拭き取って下さい。異物が混在したまま拭き取るとポリカーボネートに傷が付く恐れがあります。
- 製品を仮置きする場合は、最下段パネルは透明膜状吸音材を上向きに、最上段パネルは透明膜状吸音材を下向きにして下さい。また、台木を使用する場合は、ポリカーボネート面、透明膜状吸音材に荷重が掛からないようにアルミ枠で受けて下さい。製品に傷が付く恐れがあります。
- 透光板に使用されているポリカーボネート板はシンナーなどの溶剤や薬品で拭かないで下さい。変色（白濁など）やクラック発生の原因になります。
- ポリカーボネート面に塗装する際は、溶剤（溶剤の成分や濃度等）の選択には充分に考慮して下さい。
- 透明膜状吸音材の上に物を置かないで下さい。吸音材の変形破損の原因となります。
- 専用の吊り具を使用して下さい。尚、本体に直接玉掛をするときは、ナイロンスリング等を使用し製品に傷がつかないよう養生して施工して下さい。

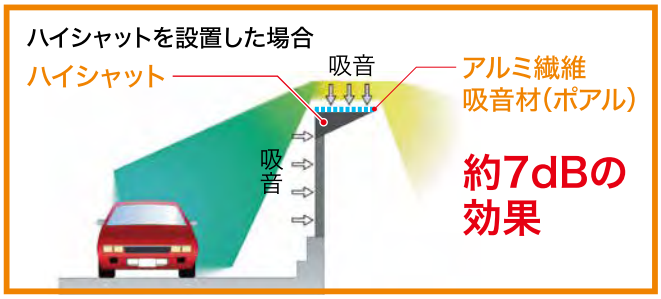
※その他の注意事項に関しては22ページをご覧下さい。

ハイシャット（遮音壁頂部設置型消音装置）

壁の高さを変えずに、遮音壁の効果を大幅に向上。

音波が遮音壁頂部に設置したハイシャットの表面に沿って廻り込む際、表面にある吸音材による消音や多重回析の効果によって騒音を低減。

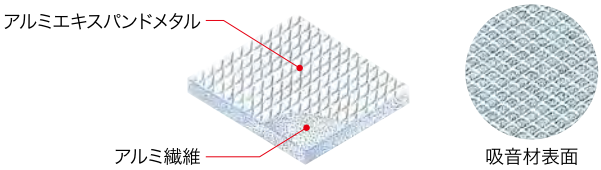




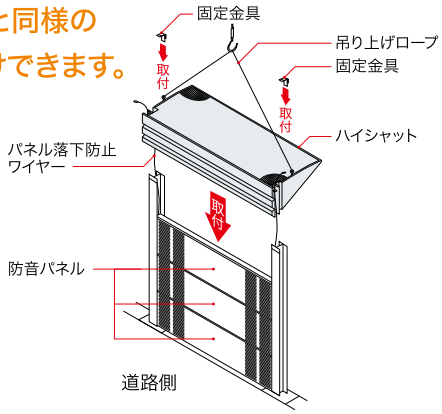
消音装置の枠材や吸音材（ポアル）は金属製で、耐久性に優れ不燃です。

■アルミ繊維吸音材「ポアル」

アルミニウム繊維とエキスパンドメタルを圧着加工した金属製吸音材「ポアル」は、意匠性・耐久性に優れ、屋外での豊富な実績があります。



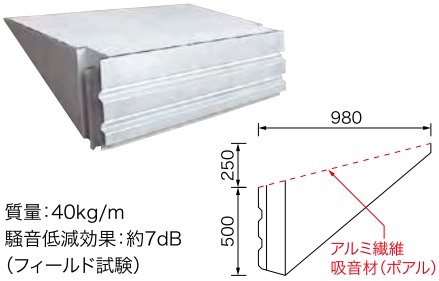
従来型遮音板と同様の方法で取り付けできます。



ラインアップ

消音装置の大きさ別・効果別に3タイプを揃えています。HST・PHGは製品高さを500mmとした頂部フラットタイプもあります。

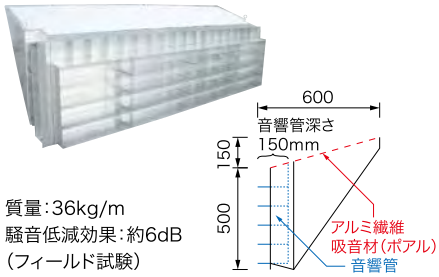
HST型



質量:40kg/m
騒音低減効果:約7dB
(フィールド試験)

施工例

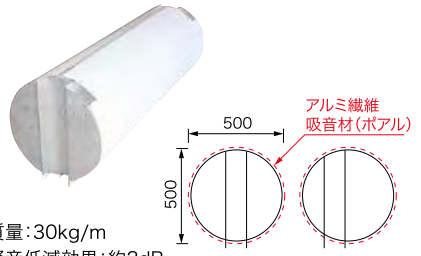
音響管構造付加 PHG型



質量:36kg/m
騒音低減効果:約6dB
(フィールド試験)

施工例

HSR型 建設技術評価認定 建技評第93404号



質量:30kg/m
騒音低減効果:約2dB
(フィールド試験)

道路の建築限界を
考慮した、シフトタイプ

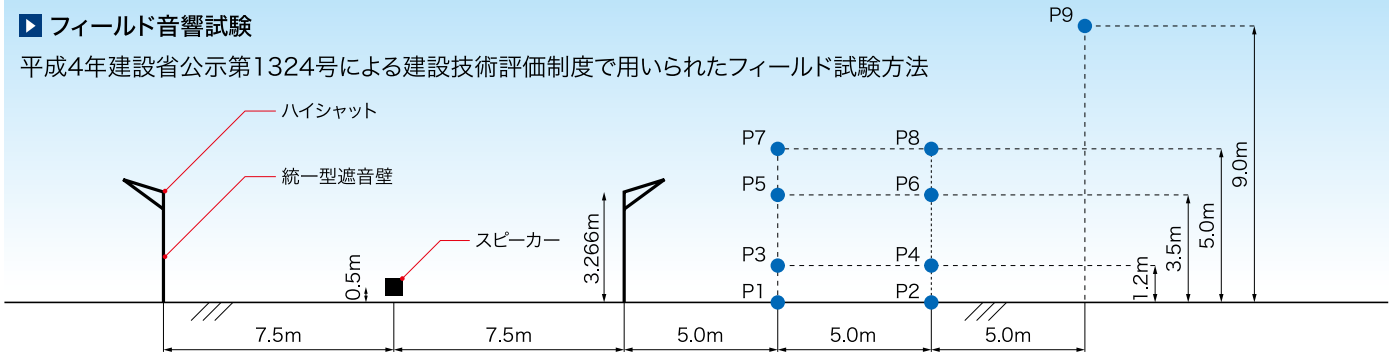
施工例

騒音減音効果 統一型遮音壁との比較

受音点			騒音の低減効果 (dB)					
地上高さ (m)	壁からの距離 (m)	No.	HST		PHG		HSR	
0	5	P1	7.3	7.0 下部4点平均	5.6	5.7 下部4点平均	2.5	2.1 下部4点平均
	10	P2	6.4		5.0		1.6	
1.2	5	P3	8.1		7.3		2.7	
	10	P4	6.1		5.0		1.7	
3.5	5	P5	5.3	3.4 上部4点平均	4.6	3.9 上部4点平均	0.9	0.7 上部4点平均
	10	P6	4.4		4.5		0.6	
5.0	5	P7	1.7		2.8		1.0	
	10	P8	2.3		3.5		0.4	
9.0	15	P9	1.9		2.1			

フィールド音響試験

平成4年建設省公示第1324号による建設技術評価制度で用いられたフィールド試験方法



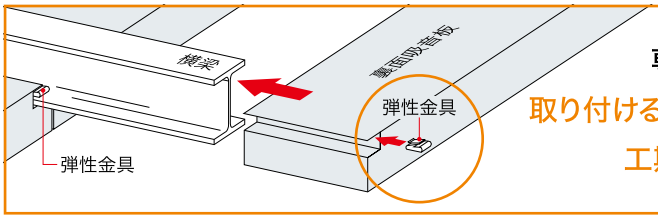
注意

- アルミ繊維吸音材は薄いため、押したり、物をぶつけたりしないで下さい。また、設置後もハイシャットの上部に乗らないで下さい。凹みなど破損の原因となります。
- 保管する際は、風通しのよい場所に保管して下さい。ブルーシート等で養生すると表面処理(亜鉛めっきなど)鋼板等に錆が発生する可能性があります。
- 吊り上げ時は、吊用アイボルトを所定の位置に取り付けご使用下さい。尚、本体に直接ワイヤーをかけるとアルミ繊維吸音材が凹み製品が破損する恐れがあります。
- 専用ラック以外で仮置きする場合は、アルミ繊維吸音材に荷重が掛からないようにして下さい。製品が破損する原因となります。

※その他の注意事項に関しては22ページをご覧下さい。

裏面吸音板（保守点検足場機能付）

高架下の交通騒音を吸音するとともに
高架道路から床版を通って伝わってくる騒音も抑制。



専用の弾性金具で取り付けるため施工性がよく、工期短縮が可能です。

施工後は保守点検作業時に足場として使用できる十分な強度を保有しています。

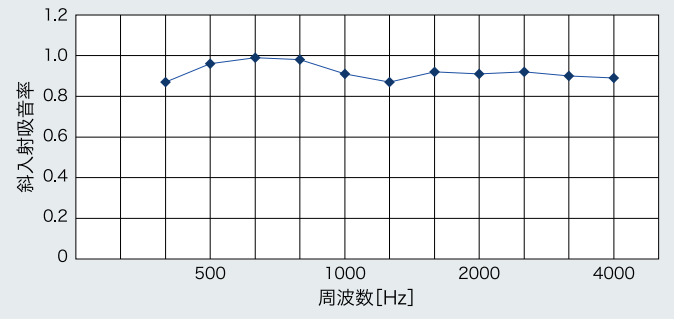
製品規格

※標準寸法のほか、端尺寸法にも対応可能ですのでご相談下さい。

標準寸法（mm）	参考重量（kg）	材　質
1980×500×105	19	正面板：アルミニウム板　JIS H4000 A5052P　t=0.6mm 背面板：高耐候性めっき鋼板　JIS G 3323 SGMH400　K27　t=0.8mm 吸音材：ポリエステル繊維吸音材　75mm

音響試験データ（斜入射吸音率）

測定場所：（一財）小林理学研究所



平均斜入射吸音率 = 0.92

周波数（Hz）	斜入射吸音率（算術平均値）
400	0.87
500	0.96
630	0.99
800	0.98
1000	0.91
1250	0.87
1600	0.92
2000	0.91
2500	0.92
3150	0.90
4000	0.89

使用上の注意事項

安全のため必ずお守り下さい

■取り付け前に、下記の事項を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けして下さい。
■下記に示した事項は、安全にお使い頂く為の重要な内容を記載してありますので必ずお守り下さい。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると人がケガをする可能性及び物的損害が発生すると想定される内容を表示しています。	『禁止』を意味します。 『分解禁止』を意味します。 『重要事項』を意味します。

警告

- 端部は鋭利な刃物と同様ですので、直接、肌に当たるとケガをする恐れがあります。顔などを絶対に近づけないで下さい。
- 取り付け時は、転倒、つい落、製品落下等がないように十分安全に気をつけて行って下さい。
- 取り付け時は、パネルと支柱等の間に手を挟まないよう注意して下さい。ケガをする恐れがあります。
- 必要な保護具（安全帽、安全靴、手袋、作業着等）を着装の上、作業を行って下さい。ケガをする恐れがあります。
- 実際の設計や施工に当たっては事前に十分調査の上、設置場所に応じた基礎、支柱サイズを選定してください。
  設計・施工前の十分な事前調査や設置場所に応じた適切な基礎を設置しなかった場合、思わぬ事故につながることがあります。
- 対応範囲を超えた仕様（強度、サイズ、形状）で設計しないで下さい。
- 強風の時には、製品が風であおられて事故につながる危険性がありますので施工は避けて下さい。
- 労働安全衛生法、建築基準法、その他の法令、条例等に従って設計・施工して下さい。
- 製品は遮音パネルですので、それ以外の用途に使用しないで下さい。
- 製品の過度な重ね置きはしないで下さい。変形、破損の恐れがあります。
- 改造はしないで下さい。製品の破損及び劣化の原因となります。

注意

- 製品を踏みつけたり、乗ったり、投げたりしないで下さい。破損、変形の恐れがあります。
  また、転倒したり、当たったりしてケガをする恐れがあります。
- 製品・部品の取り付けは確実に行って下さい。落下によりケガをする恐れがあります。
- 施工治具（吊ワイヤー、金具等）は使用前に十分に点検を行って下さい。
- 施工治具の製品への取り付けを確実に行って下さい。
- 納入製品に破損もしくは損傷がある場合は、施工前に申し付け下さい。
- 一般的な屋外や道路等を対象とした製品ですので、薬剤等の影響がある特殊な環境で使用される場合は、お問合せ下さい。
- ご使用・施工時には下記の事項にご注意下さい。製品の破損及び劣化の原因となります。
  ①製品に影響をおよぼす著しい振動がある場所での使用は避けて下さい。
  ②製品に強い衝撃を与えたり、落したり、投げたりしないで下さい。
  ③製品の近くで溶接作業をする場合は、十分な養生を行い、溶接火花や熱の影響がないようにして下さい。
- 本体に直接玉掛けをするときは、ナイロンスリングなどを使用し、製品に傷がつかないように養生し施工して下さい。

免責事項

下記のような場合には保証対象外となります。

- 施工により生じた製品の不具合。
- 弊社の製品以外の部材による不具合。
- 他の工事が原因による不具合。
- 暴動・テロ活動等の不可抗力により発生した損傷。
- 弊社発行のカタログに記載された事項に従わない設計・加工により不具合が生じた場合。
- 製品が変質・変形する恐れのある場所で使用された場合、及び変質・変形の恐れのある施工がなされた場合。
- 天変地異（天災・台風・洪水・地震・落雷・つらら等）による損傷。
- 初期の損傷ないし不具合を長期間放置したために生じた拡大損傷。
- 製品または部品の経年変化により変褪色、微細なひび割れ等が生じた場合。
- 釘部、ネジ部の錆やもらい錆に起因する不具合。
- 建物自体の変形や変位により生じた不具合。
- 本カタログの内容を無視した保管・取り扱いによる不具合。
- 犬・猫・鳥・鼠等の動物や昆虫等に起因する不具合。

ご注意とお願い

- 本カタログに記載された測定結果は、製品の代表的な特性をあらわすもので、性能を保証するものではありません。
- 本カタログに記載の内容は予告なく変更することがあります。
- 本カタログの無断転載・複写を禁じます。
- 製品は遮音パネルです。用途以外に使用しないで下さい。

KURIMOTO

株式会社 栗本鐵工所

建材事業部　消音営業部

本カタログ掲載製品に関するお問い合わせは、
下記までお願いいたします。

【本　　社】
〒550-8580 大阪市西区北堀江1丁目12番19号
TEL(06)6538-7716

【東京支社】
〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番2号
TEL(03)3450-8570

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

建材事業部のSDGsの取り組み

株式会社栗本鐵工所では、国際社会が2030年に向けて取り組む「持続可能な開発目標(SDGs)」を支持し、事業を通してその実現に貢献しています。
なかでも「交通騒音対策製品」としては具体的に、道路騒音対策として設置される遮音壁や吸音パネルなどの製品が、道路周辺の環境の安全、レジリエントなインフラ整備に貢献しているほか(目標9・目標11)、製品に使用している原材料には耐久性の高いものを使用して製品の長寿命化につなげ、産業廃棄物の削減に尽力しています(目標12)。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任

2023 10　FY-ver.1.0